

みずほCustomer Desk Report 2022/01/25号(As of 2022/01/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.84
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.79	1.1340	128.95	1.3555	0.7186
SYD-NY High	114.00	1.1350	129.15	1.3562	0.7187
SYD-NY Low	113.47	1.1291	128.42	1.3441	0.7091
NY 5:00 PM	113.98	1.1323	129.13	1.3491	0.7146
NY DOW	34,364.50	99.13	日本2年債	-0.0700	0.00bp
NASDAQ	13,855.13	86.21	日本10年債	0.1300	0.00bp
S&P	4,410.13	12.19	米国2年債	0.9700	▲4.48bp
日経平均	27,588.37	66.11	米国5年債	1.5498	▲2.15bp
TOPIX	1,929.87	2.69	米国10年債	1.7751	0.54bp
シカゴ日経先物	27,300.00	55.00	独10年債	-0.1005	▲3.80bp
ロンドンFT	7,297.15	▲196.98	英10年債	1.1290	▲3.80bp
DAX	15,011.13	▲592.75	豪10年債	1.9260	3.30bp
ハンセン指数	24,656.46	▲309.09	USDJPY 1M Vol	6.66	0.41%
上海総合	3,524.11	1.54	USDJPY 3M Vol	6.66	0.25%
NY金	1,841.70	9.90	USDJPY 6M Vol	6.76	0.16%
WTI	83.31	▲1.83	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	245.593	▲2.89	EURJPY 3M Vol	7.32	0.31%
ドルインデックス	95.92	0.28	EURJPY 6M Vol	7.41	0.11%

【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
1月24日	17:30	独	マーケットPMI指数(製造業/サービス業/コンポジット)	1月 60.5/52.2/54.3	57/48/49.4
	23:45	米	マーケットPMI指数(製造業/サービス業/コンポジット)	1月 55/50.9/50.8	56.7/55.4/-

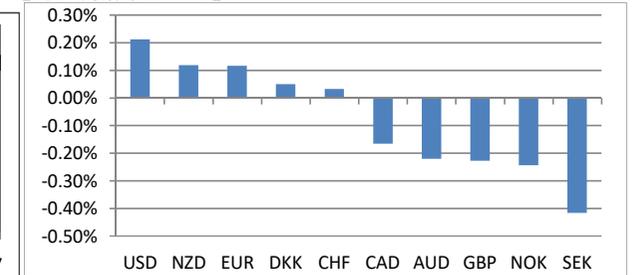
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
1月25日	09:30	豪	CPI(前期比/前年比)	4Q 1%/3.2%	0.8%/3%
	18:00	独	IFO指数(企業景況感/現況/期待)	1月 94.5/96.1/93	94.7/96.9/92.6
1月26日	00:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	1月 111.1	115.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.40-114.20	1.126-1.135	128.30-129.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は113円台後半中心での推移。ウクライナ情勢を意識したリスクオフの動きに一時113.47まで下落する場面があるも押し目買いで値を戻す形となり、国防総省報道官の発言にもサポートされ米株市場が大幅に反転したこともあり、114円ちょうど近くまで上昇した。本日も113後半中心での動きを予想。株式市場でのリスクセンチメント改善から114円乗せを試す展開も想定されるが、依然FOMCの結果を見守る状態が続いており、ウクライナに関する地政学リスクも余談を許さない状況であることから、積極的なポジションテイクは控えられると考えられ、昨日と同水準でのレンジ推移が基本線と見込まれる。

東京	東京時間のドル円は113.79レベルでオープン。特段の材料もなく、かつ、週内にFOMCを控える中で積極的な取引とはならず113.72-98の狭いレンジでの推移。しかし、先週見せていた下落トレンドはやや弱まり下値追いついた展開とはならず、113.82レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、113.82レベルでオープン。ウクライナ情勢の緊迫化により欧州株が大幅下落となる中で円高地合いの立ち上がり、113.47付近まで売られるが、一目均衡の雲下限近辺であったこともあって反発すると買い戻され、結局変わらずの113.79レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は113.79レベルでオープン。朝方は円買いが先行し、ドル円は113.66まで下落するが、ドル買いが優勢となり114.00まで戻す。しかし更にドルが買い戻される勢いはなく、良好な米2年債入札結果もあり、米金利が低下する中、ドル売りが優勢となり113.67まで下落する。しかし国防総省報道官がウクライナ情勢について「依然として外交の時間と余地ある」としたことが伝わったことや、米大統領が欧州指導者と電話会議との報道から、大幅下落していた株式市場で急速に買い戻しが強まり、プラス圏で引ける展開や米長期債金利も上昇する展開に再び114.00まで戻し、113.98レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1298レベルでオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1291まで下落するが、その後はドル売りが優勢となり1.1324まで戻す。午後良好な米2年債の入札結果を受け、ドル売りが強まったことから1.1335まで戻したが、最終ドルが買い戻される展開に1.1323レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 木村・逸見